



学ぼう伝えよう 輝く 恵那人 206人目 HUMAN WATCH

岩村町飯羽間飯羽3区
たぐち おさむ
田口 修さん (59歳)

□プロフィール
ビートルズに憧れ、小学校高学年で音楽に目覚める。児童劇団に協力し、音楽演奏家の役を演じる。発祥レシピの再現を行う自称「ハヤシライス研究家」
YouTube「えな健康生活支援隊」▶

「温故知新」基本十変化 地域が元気になる情報を動画で配信

四季折々の風景や市民活動をはじめ、子育て情報、障がいへの理解を深める特集など、地域が元気になる情報をケーブルテレビやYouTubeなどで発信するまちづくり活動団体「一般社団法人えな健康生活支援隊」。理事長を務める田口修さんは、染織体験の開催や音楽活動など、多彩な才能を発揮する。

田口さんはかつて、英語教員として小学校や特別支援学校で教壇に立っていた。40代の後半、染物屋を営んでいた祖母の実家、現在の上町まちなか交流館を「地域のために活用したい」「染織事業を復興したい」と思うようになり、本格的に染物を開始。その後、介護が必要な父母を看たいという思いも重なり50歳で早期退職した。

生計をどのように立てようか悩んだが、母が地域の方と音楽を楽しんでいたことを思い出し、好きな音楽で生きていこうと決めた。独学だが、楽器はピアノにギター、沖縄三線が得意。高齢者の介護予防を目的とした「うたごえ喫茶」や、明知鉄道の貸切車両でピアノを弾きながら童謡などを歌う「おもひで列車」の企画が人気を博した。

コロナ禍は、順調だった活動に大きな打

撃を与えた。人と会えない、集まらない状況に「何かしなければ」と思い、動画配信を取り入れた。「コロナ前は、テレビ番組や動画を制作するとは想像もしていなかった。従来の紙媒体に比べ情報量が格段に増えた」と変化を振り返る。

「楽器も人生も基本をしっかりと身に付けば応用が利く。先人の教えを大切にしながら、自分なりに変化を加えていく。それが私の温故知新」と話す。

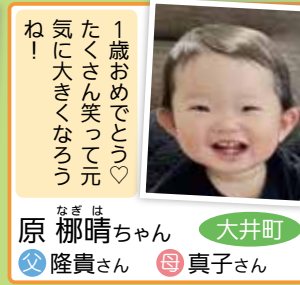
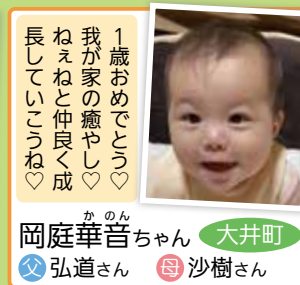
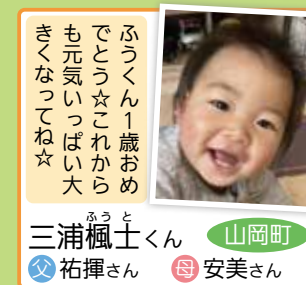
今後は、「多くの経験から得た知識を仲間と共有し、みんなで活動していきたい」。まずは、地域に眠る文化遺産を掘り起こすことから始めようと考えている。「大手マスコミが取り上げないことに着目し、行政ができないことを応援していきたい」と、目を輝かせた。



▲岩邑中学校「温故知新の時間（ふるさと学習）」で、生徒に染め型紙を指導する田口さん



出生おめでとう
(10/16～11/15 届出分)



1月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。①お子さん1人で写った、顔全体と胸から上が入っている写真 ②住所(町名まで) ③氏名(ふりがな) ④生年月日 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦両親の氏名(ふりがな) ⑧32字以内のコメント ⑨ケーブルテレビ放映の可否を、12月13日(月)までに電子メール(☐info@city.ena.lg.jp)か申し込みフォームで申し込みください。土日祝を除き3日以内に掲載可否を連絡します。掲載は先着8人までです。申し込みフォーム▶



かわいい動物の劇を見て楽しかった。教えてもらったことをちゃんと覚えることができたよ。(菜々実ちゃん)
「セーフティファイブ」を守って、一人で行動したり、怪しい人に付いていったりしないよ。(咲ちゃん)

命を守る、大事な約束忘れない

おさしま二葉こども園

おさしま二葉こども園は、二葉こども園と長島こども園が一つになり、平成31年4月に開園しました。

11月16日、県警本部生活安全部の教育班「たんぼぼ」による、命を守る訓練が行われました。連れ去られないために気を付ける五つの約束「セーフティファイブ」を、動物の人形劇で楽しく勉強。動物が不審者に付いていくというのを「だめー」と大きな声で止めることができました。最後は、五つの約束を歌にした「セーフティファイブのうた」で振り返り。年少児から年長児まで、楽しく真剣に学びました。

